

Adobe Experience Platform

Configure and Manage Adobe Experience Platform

(Experience Platformの設定と管理コース)

- コース目的：
Experience Data Model (XDM) スキーマとデータセットの作成方法を学習します。ソースコネクタ、API、ストリーミング取り込みコネクタを通じて、作成したデータセットにデータを取り込みます。また、データ使用ポリシーと結合ポリシーの作成、送信先とデータ監視ダッシュボードの設定、クエリでデータをデータレイクから取得したり、取り込み用データの準備についても学習します。受講対象者：データエンジニア、データアーキテクト、技術系ユーザ、データサイエンティスト
- 実施日数/時間：2日 / 10:00～17:00
- 前提条件：Adobe Experience Platform の用語やUIについての基本的な知識、「Adobe Experience Platform概要コース」を受講済みか、同等の知識
- コース内容

章	内容	実習有無
	はじめに	
1章	Experience Platformの顧客データ	
	顧客データの収集、変換、出力や、管理のされ方など顧客データの概要についてご紹介	あり
2章	Experience Platformにおける受信データのモデル化	
	Experience Data Model (XDM) スキーマ、データセットについてご紹介	あり
3章	Experience Platformへのデータ取り込み	
	Experience Platformへのデータ取り込み方の種類や、コネクタの利用の仕方、ストリーミング取り込み、APIを使った取り込みのやり方などご紹介	あり
4章	データ使用ポリシーの設定とデータハイジーンの維持	
	データ使用におけるポリシー設定によるガバナンス設定や、データハイジーンの維持のための管理についてご紹介	あり
5章	ユーザーアクセスと権限の確認	
	Experience Platformでのユーザーの権限管理や、設定を外部に運ぶためのパッケージについてご紹介	講師 デモ

章	内容	実習有無
6章	宛先に対するリアルタイム顧客プロファイルデータのアクティブ化	
	リアルタイム顧客プロファイルや、オーディエンスを設定し、宛先を使って外部への配信の仕方についてご紹介	あり
7章	Experience Platformにおけるデータフローとクエリーデータの監視	
	データの監視や、クエリーサービスの利用の仕方についてご紹介	あり
8章	Data Collectionを使用した他のアプリケーションとのインタラクション	
	Data Collectionを使用したデータ取得の実装（Web SDK）について概要をご紹介	講師 デモ
9章	取り込み用データの準備	
	Experience Platformに取り込むデータの準備やマッピング時の計算フィールドの設定や、エラー解消についてご紹介	あり
10章	効率的なXDMスキーマの設計	
	XDMスキーマの効率的な設計についてご紹介	なし